

佐原間税会長賞

「ありがとう」を忘れずに

香取市立香取中学校三年

伊藤美紅

「緊急事態宣言を発出いたします。」

昨年の四月からこれまで、何度も耳にした言葉だと思います。緊急事態宣言が初めて発令された昨年の四月、そのとき全国民に給付された十万円と各家庭に2枚ずつ配付された布マスクを覚えてますか。そのとき、様々な意見が飛び交いました。「マスクが無いからありがたい」そんな意見もあれば、「布マスクなんていらない。こんなものに税金を使うな」このような厳しい意見もありました。

では、ここで出てきた「税金」とは誰がどのようにして用意したのでしょうか。それを用意したのは国民です。ですから、税金の使い方について賛否両論があるのは当たり前のことだと私は思います。ですが、だからこそその税金について国民全員がしっかりと理解しておくことが必要だと考えます。そう考えてはいても、私も税金について今まで深く考えたことは一度もありませんでした。

いて調べました。そうすると、私たちのとても身近なところで、たくさんの税金が使われていることがわかりました。まずは、図書館、病院などの公共施設です。私たち中学生は、病院に行つてもたつたの三百円で診察してもらうことができます。図書館で自分の好きな本を借りて読むことも、館内にある施設を使って勉強することもできます。

次に、緊急時に使用する、消防や救急、警察なども税金によって稼働しています。他にもたくさんありますが、私が一番心に残つたのは新型コロナウイルスの感染症予防に使われている税金です。今、たくさんの方々が新型コロナウイルスに感染してしまっています。しかし、多くの方が回復し、元気になつています。これを支えているのは病院です。そして、この病院を支えているのは税金です。想像してみてください。もし、自分が新型コロナウイルスに感染し、病院に行つたとき、病院が施設として機能していなかつたら。環境、設備が整つていなかつたら。

私はこれを想像したらとても不安になりました。

そこで、私はまず税金の主な使い道につ

した。そして、税金の大切さが少し分かった気がしました。それと同時に、現在、医療の現場が崩壊しないのは、医療従事者の方の懸命な努力があつてこそだと感じました。

私たちの身近にいつもある税金、だからこそ税について考える機会はあまり無かつたのではないかでしょうか。私はこの税の作文を通して、税の大切さだけでなく、人々の生活と安全を支えてくださつているたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れてはいけないということを改めて感じ、私自身、自分にできることをしっかりと考えて生活しようと思うことができました。そして、これからも今のような状況が続くと思いますが一人一人が「今も自分達のために頑張つてくださつている方がいる」ということを忘れずに生活すれば、日本の未来は変えられると思います。